

2021年7月11日

きょうかいがっこうコーナー

ねんかんたい しゅじつ
年間第15主日

ふくいん マルコ 6.7~13

みなさまおげんきですか。もうきょうかいにごミサにこられるので、みなのかおをみせてくださいね。だいじょうぶでしょうか。リーダーたちはすごくしんぱいしています。

「そのとき、イエスは」12にんをよびよせ、ふたりずつくみにしてつかわすことにされた。そのさい、けがれたれいにたいするけんのうをさずけ、たびにはつえ1つぼんのほかなにももたず、パンも、ふくろも、またおびのなかにおかねももたず、ただはきものはくように、そして「したぎは2まいきてはならない」とめいじられた。またこうもいわれた「どこでも、あるいえにはいったら、そのとちからたびだつときまで、そのいえにとどまりなさい。しかし、あなたがたをむかえいれず、あなたがたにみみをかたむけようもしないところがあったら、そこをでていくときに、かれらへのあかしとしてあしのうらのほころをはらいおとなさい」12にんはでかけていって、くいあらためさせるためにせんきょうした。そして、おおくのあくれいをおいだし、あぶらをぬっておおくのびょうにんをいやした。

みなさんは、どこかへでかけるときに、かならず、もっていくものをかばんにつめて、にもつをつくりませんか。おかねももちろんもっていきますね。それであんしんしてでかけられますね。

きょうのふくいんしよでは、イエスさまがでしたちにまったくはんたいのことをいっておられます、せんきょうに（かみさまのおしえをつたえに）でかけるとき、つえ1つぼんのほかはなんにももたず、パンもふくろも、おかねも、ただはきものをはくように、きがえももっていかないように。

なぜでしょうか。

それはつぎにかいてあります。「あるいえにはいったら、そのとちからたびだつまで、そのいえにとどまりなさい。ずっとそのいえにおせわになりなさい。イエスさまがいたいのは、ほんとうのかみさまのことをつたえようとするときに、ひつようなものは「あるくこと」「ひとにであいに行くこと」じぶんからそれぞれであいひとにかみさまのことをつたえなさいと、イエスさまがおしえてくださるようなきがします。

わたしたちのまいにちのせいかつのことをかんがえなさいといわれているようなきがします。ただ「イエスさまのおしえをつたえよう」とのかくしんがないとつたえられないし、またいちにちじゅうイエスさまをほったらかしにして、どうしてつたえられましょうか。イエスさまはずっといっしょにいますのに、しらんかおしていませんか。あああ…きょうかいがっこうコーナーをよんでいるみなさん、まず、いのりをわすれていませんか、イエスさまはずっといっしょにいてくださることをいちにちのあいだ、どれくらいおぼえている、かんじているのでしょうか。あなたのまわりにだれかこまっているおともだちやいろいろなひとがいたら、イエスさまは、なにをするようにとすすめられているのでしょうか。まずここからはじめることがひつようだとおもいます。そしてまわりのおともだちがあなたのやさしさでところがあたたかくなり、やっぱりどこかちがうとかんじられるとき、あなたイエスさまとかみさまのしごとをしていることになります。

どうですか。イエスさまのしごとをするのは、うれしいことですよ！。

うえのえをぬりましょう。またしたのえには、うえのえにないものにいろをぬりましょう。

